

経営動向調査

research of management trend

Vol. 21

業況DIが調査開始以来、最低値を記録

～先行き不安等により業況感到厳しさを強まる～

調査対象期間

平成13年

7月～9月

(平成13年度第2四半期)

〈本調査に関するお問い合わせ先〉
熊本商工会議所 情報調査課
TEL 354-6688

〈結果概要〉

全業種の業況DIは、対前期比（平成13年4月～6月）で平成13年6月期の前回調査よりも9.9ポイント悪化しマイナス52.8となった。平成8年9月期からの調査開始以来、過去最低を記録し熊本市域の小規模企業全体の業況感には、更に厳しさを強める結果となった。なお、対前年同期比（平成12年7月～9月）は平成13年6月期の前年同期比の結果に対し7.5ポイント悪化し、マイナス57.5だった。

雇用面で7、8月ともに完全失業率が5.0%を記録する中、米国同時多発テロ事件が発生。その影響から株価も1万円を割り込むなど、経済全般への不安感を背景として、業況感の悪化は顕著となっている。

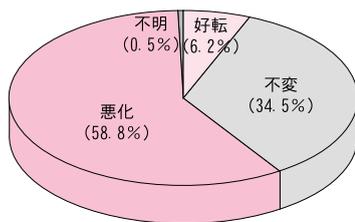
調査対象

熊本市内小規模
企業292事業所と
FAXネットワーク

（小規模企業とは、商業・サービス業は従業員5人以下、それ以外の業種は20人以下の企業のこと）

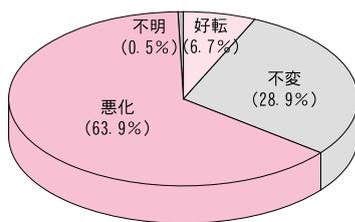
全産業の業況（H13/7～9月）

対前期比
(平成13年4月～6月)



DI = ▲52.8 (前回▲42.9)

対前年同期比
(平成12年7月～9月)



DI = ▲57.5 (前回▲50.0)

悪化

- ・消費の低迷
- ・雇用不安
- ・社会不安の長期化

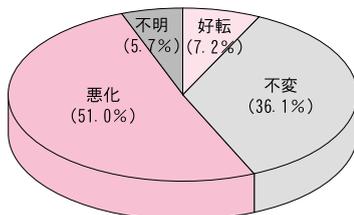
好転

- ・年末特需への期待

来期（平成13年10月～12月）のイメージ

来期の業況見通し

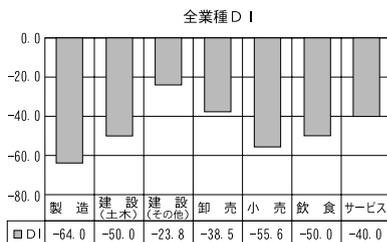
(平成13年10月～12月)



DI = ▲46.4 (前回▲34.3)

(産業別) 来期の業況見通し

DI = (好転企業割合) - (悪化企業割合)



来期(平成13年10月～12月)の見通しについて

全産業における来期(平成13年10月～12月)の業況見通しDIは、前回調査から12・1ポイント悪化し、マイナス46・4ポイントの結果となった。

業種別では、建設業全般では、今後の公共工事発注への期待感が高まり来期見通しは好転しているが、建設(土木)は依然として低水準のまま。卸売業では、年末商戦など季節特需への期待感から、来期見通しが好転。一方、製造業、小売業、サービス業、飲食店は、先行き不安や長引く個人消費の低迷、競合店との価格競争等の影響により見通しは悪化している。

産業別概況

建設（土木）以外の六業種で厳しい景況感が続く

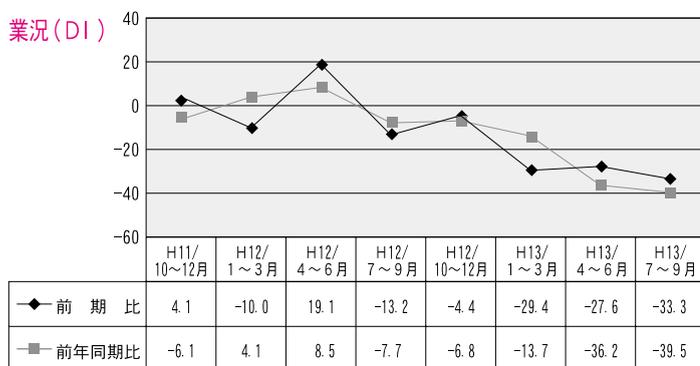
製造業は、受注単価の低水準に伴い、売上高が悪化し営業利益も大幅に悪化し全体の業況も悪化。建設業（土木）は、受注単価の低水準により売上高もほぼ横ばいだったが、仕入単価の大幅な改善により営業利益は好転し全体の業況も僅かに好転。建設業（職別・設備）は、受注単価の悪化に伴い売上高も悪化。それに伴い業況感も大幅悪化の状況。卸売業は、販売単価の悪化により売上高、営業利益も悪化し業況も一段と厳しくなっている。小売業は、販売単価は横ばいで売上高は低水準のまま推移。全体の業況は依然厳しい状況。飲食店は、販売単価が前回同様低水準であり売上高も悪化。営業利益、業況も大幅に悪化。サービス業は、販

産業別業況DI（対前期比）

	今回分 (H13. 6月期)	前回分 (H13. 3月期)	比較ポイント
製造	▲66.7	▲50.0	▲16.7
建設(土木)	▲28.6	▲44.4	+15.8
建設(職別)	▲50.0	▲19.2	▲30.8
卸売	▲69.0	▲58.6	▲10.4
小売	▲55.6	▲54.8	▲0.8
飲食店	▲35.7	▲14.3	▲21.4
サービス	▲45.2	▲39.7	▲5.5

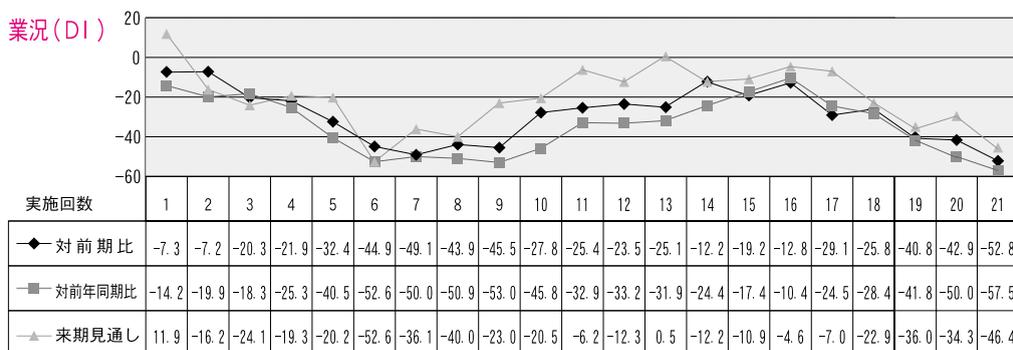
サービス業(売上高DI)

業況(DI)



サービス業の概況
比較的利率が高く、これまでの調査でも業況感に底固さを維持してきたサービス業だが、グラフの売り上げDIが示す通り、今年に入ってから低水準で推移している。12月の年末特需に向けて期待感はあるものの、「消費の低迷や公共工事の減少など好材料はほとんど見当たらない現状」（測量設計企業）から考えると、今後の業況感はや断を許さない状況と言える。

業況DIの推移を見る



コメントピックアップ

米国同時多発テロの影響が今後どのように出てくるのか非常に心配（建設業）

・値引き要請が各取引先から増えている（製造業）

・インターネットによる物流が増加すると思う（製造業）

・運転資金供給の小規模短期できめ細やかな対策が必要である（建設業）

・昨年比で、売上は伸びているが、人員不足のため外注に頼っている（建設業）

・テロの影響で、ますます消費が冷え込むのが怖い（卸売業）

・法人、個人に拘わらずギフトの需要が落ち込んでいる（小売業）

・店の努力と個性が必要となると思う（小売業・飲食店）

本調査に、ご協力いただいています協力企業（モニター）様には心より感謝申し上げます。

今後とも身近なご意見、情報をお聞かせください。